

園長より
12月



ちゅうぶっ子

R 5. 12.14発行

発行者

出雲市立中部幼稚園

園長 高橋 均

早いもので、今年も残すところ、あと半月ほどとなりました。保護者、地域の皆様には、年の瀬を迎えて慌ただしい毎日をお過ごしのことと思います。

さて、中部幼稚園の2学期は、「ファイヤー！ ゴールまであきらめないぞ うんどうかい」のスローガンのもと、みんなで力を合わせてがんばった『家族運動会』。秋晴れの天気恵まれてウキウキ気分電車基地や出雲空港に出かけた『秋の遠足』。斐伊川土手の草の上を何度も繰り返し滑ってスリルを味わった『土手滑り』。みんなで大事に育てたたくさんの野菜をシチューやおでん、サラダなどにして、感謝していただいた『わいわい収穫祭』。日頃の園での学びの成果をご家族や地域の皆さんの前で披露した『生活発表会』・・・と、たくさんの行事を経験し、心も体も大きく成長することができました。

また、久しぶりに開催された地区民体育大会での年長児のダンス発表や、久木地区や直江地区の文化祭での歌の発表や作品展示、敬老のはがきの送付など、園児の元気を地域へ届ける機会もいただき、園児に人の役に立つ喜びや自信を育むことができたことも、地域の幼稚園としてとても嬉しいできごとでした。今後も、日頃から陰に日向に支えていただいている地域の皆さんに少しでも貢献できるよう、努めていきたいと思っております。

中部幼稚園は、12月26日（火）～1月8日（月）まで冬休みになります。コロナは下火になったものの、インフルエンザは依然として猛威をふるっていますので、休み中も規則正しい生活を心がけ、ご家族全員そろって元気に新年を迎えられますようお願いしております。



みんなで大事に育てた野菜の収穫祭 Festa da colheita das verduras que todos cultivaram

11月17日に、幼稚園で育てた野菜を使って調理し、みんなで自然の恵みに感謝していただく「わいわい収穫祭」を行いました。育てた野菜は、カブ、レタス、ラディッシュ、大根、キャベツ、白菜、ほうれん草など、もりだくさん。年少いちご組は、レタスやキャベツをちぎってサラダを作ったり、さつまいもでスイートポテトを作ったりしました。年中りんご組は、カブの酢の物と白菜の胡麻和え、スイートポテトを作りました。そして年長すみれ組は、大根でおでん、ほうれん草やカブ、白菜などで栄養たっぷりのシチューを作りました。

それぞれのクラスで作った料理を他のクラスにもおすそ分けをして、みんなでたくさんの野菜料理を堪能しました。普段は野菜が苦手な子もいますが、自分たちで育てたり調理をしたりしたので、この日は「おいし〜！」と、もりもりと食べていました。



避難訓練で消火（放水）体験をしました Treinamento de incendio

11月20日に、火災を想定した避難訓練を行いました。斐川の消防署からも3名の消防士さんに来ていただいて、実際に消防車からホースで放水する体験もさせていただきました。これから本格的な冬に向かい火を使う機会が増えるので、火事を起こさないよう十分気をつけていきたいですね。

ならないよう十分気をつけていきたいですね。



